

「近畿・北陸 SSH 8 校連絡会」が開催されました

第 13 回「近畿・北陸 SSH 8 校連絡会」が 10 月 29 日（水）に奈良県立奈良高等学校で開催されました。

この連絡会の目的は、これまで SSH 指定を受けてきた近畿・北陸の 8 校が、SSH 研究開発事業の今後の動向や校内体制、進路指導への活かし方などについて情報交換することにあります。

メンバーは、奈良県立奈良高等学校、大阪府立天王寺高等学校、兵庫県立神戸高等学校、三重県立津高等学校、石川県立金沢泉丘高等学校、福井県立藤島高等学校、滋賀県立膳所高等学校、京都市立堀川高等学校の校長と SSH（課題研究）主任です。

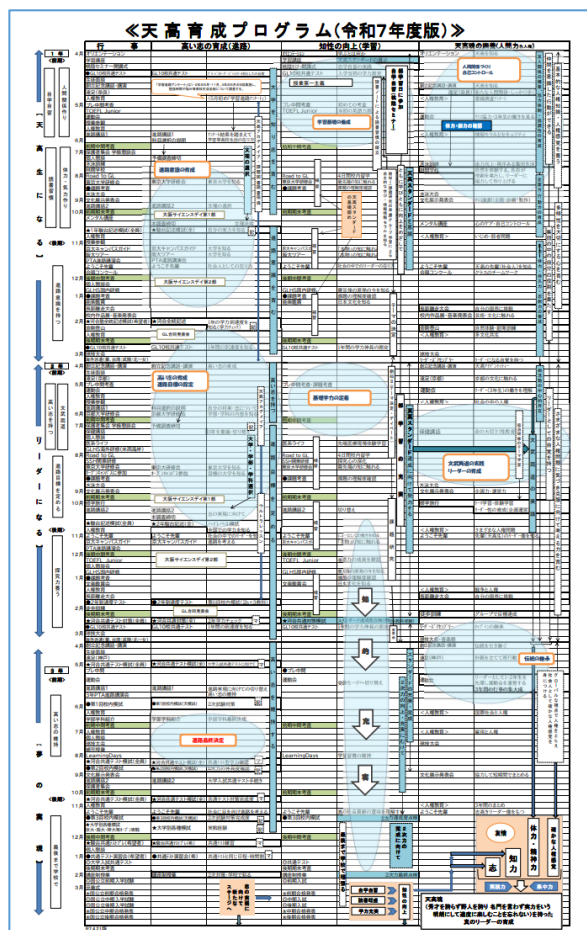
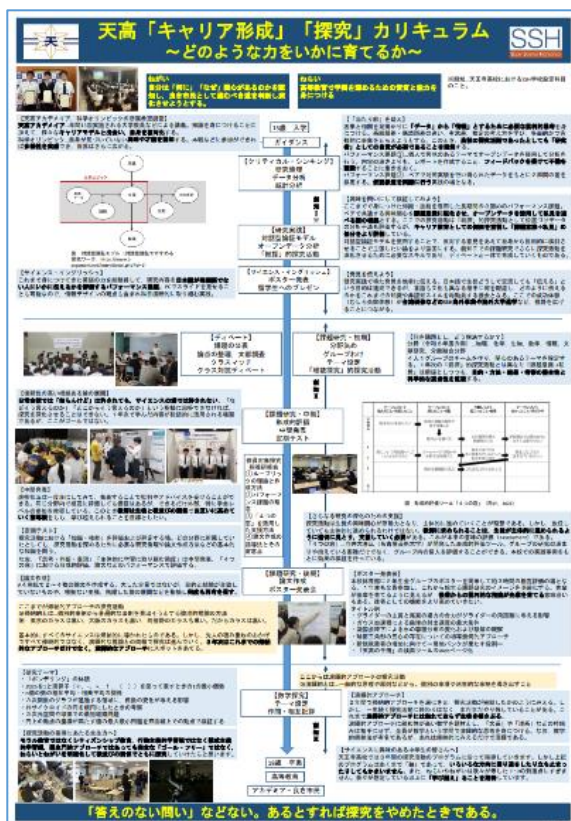
今回の会議では、「今後のさらなる 8 校の連携について」、「各校の探究活動の取組の工夫等について」の意見交換会を行いました。

1 点目の「今後のさらなる 8 校の連携について」は、各校がその強みを活かして実施している事業に、他校が参加していくことで、生徒間のあらたな交流を創出し、さらなる連携を図っていかうとの方向性が示されました。

実際、昨年度のこの会議後に、本校は三重県立津高校と連携し、三重県内において天体観測・地質調査等を実施しました。これは、昨年度より本校で実施している「**突出人材育成 交流空間の創設**」の中の一つの取組です。津高校・天王寺高校・北野高校 3 校から地学分野（天体・地質）等に強い興味関心がある生徒が参加しました。初日は地層の調査と夜は天体観測、翌日は津高校の天体ドームで太陽の黒点の観察、小岐須溪谷では石灰岩の観察を行いました。様々な経験をして濃密なプログラムとなりました。



2 点目の各校の探究活動の取組の工夫等について、本校からは、**天高「キャリア形成」「探究」カリキュラム**〜どのような力をいかに育てるか〜 を配付し、探究の流れを見える化し、年 5 回の研修を実施していること等について説明しました。また、本校の 3 年間の教育活動全体を見える化した「**天高育成プログラム**」も配付しました。



この二つの資料は、本校 HP『天王寺高校のグランドデザイン』に掲載しています。

また、毎年2月に天王寺高校主催で『近畿サイエンスデイ』を梅田スカイビルで開催し、この「近畿・北陸 SSH 8校」の生徒による課題研究発表会を実施しています。

本校のSSH運営指導委員の先生方はもとより、京都大学・大阪大学・大阪公立大学の教授等を招聘し、審査をお願いしています。

今年度は、令和8年2月7日（土）13時から開催する旨を連絡し、参加の依頼を行いました。この『近畿サイエンスデイ』を通して、参加校のSSH活動のさらなる活性化と課題研究の質の向上を図ることができればと考えています。そして、次年度の『SSH 生徒研究発表会』に繋げていきたいと考えています。

今回、校長間の意見交換、SSH主任間の意見交換、幹事校の奈良高校からSSHの取組についてのプレゼン等を通じて、今年度の他校の取組状況を知るととても良い機会となりました。8校の皆さん、本当に、ありがとうございました。次回（来年度）は、天王寺高校が幹事校となります。

天王寺高校は、昨年度より展開している「**突出人材育成 交流空間の創設**」をより進化・深化させていき、近畿・北陸のSSH事業を牽引してきたこの8校との連携をより強固なものにしていきたいと考えています。